

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成23年11月4日(2011.11.4)

【公開番号】特開2009-139384(P2009-139384A)

【公開日】平成21年6月25日(2009.6.25)

【年通号数】公開・登録公報2009-025

【出願番号】特願2008-312082(P2008-312082)

【国際特許分類】

G 0 4 F 7/08 (2006.01)

【F I】

G 0 4 F 7/08 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月20日(2011.9.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の押しボタン (1 0) によって作動させられ、前記第 1 の押しボタン (1 0) の方向への移動が第 1 の止め部材により制限される、揺動可能に取り付けられた第 1 のレバー (2 0) と、

第 2 の押しボタン (1 2) によって作動させられ、前記第 2 の押しボタン (1 2) の方向への移動が第 2 の止め部材により制限される、揺動可能に取り付けられた第 2 のレバー (2 2) と、

前記第 2 のレバー (2 2) に取り付けられたばね (3 0) と、
から構成され、

前記第 1 のレバー (2 0) は、前記ばね (3 0) と協働するアーム (2 6) に関連付けられ、その結果、前記 2 つのレバー (2 0 、 2 2) のうちのどちらか一方が前記押しボタン (1 0 、 1 2) の一方によって作動させられたとき、前記アーム (2 6) と前記ばね (3 0) は前記アームに前記ばね (3 0) の戻り力がかかるように互いに移動することを特徴とするクロノグラフ制御デバイス。

【請求項 2】

前記アーム (2 6) は、前記ばね (3 0) と協働するピーク (2 4) を備えることを特徴とする請求項 1 に記載のクロノグラフ制御デバイス。

【請求項 3】

前記アーム (2 6) は、前記ばね (3 0) と協働するピン又はペグを備えることを特徴とする請求項 1 に記載のクロノグラフ制御デバイス。

【請求項 4】

前記アームは前記第 1 のレバー (2 0) に設けられ、さらに、前記第 1 のレバー (2 0) は前記第 2 のレバー (2 2) の回転方向 (B) とは逆の回転方向 (A) に揺動することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載のクロノグラフ制御デバイス。

【請求項 5】

前記第 1 のレバー (2 0) の揺動軸 (2 5) と前記第 1 の押しボタン (1 0) が操作されたときの前記第 1 の押しボタン (1 0) に作用する力の方向 (F1) との間の距離 (d1) は、前記第 2 のレバー (2 2) の前記揺動軸 (2 5) と前記第 2 の押しボタン (1 2) が作動されたときの前記第 2 の押しボタン (1 2) に作用する力の方向 (F2) との間の

距離（d2）と等しいことを特徴とする請求項4に記載のクロノグラフ制御デバイス。

【請求項6】

前記アーム（26）は前記第1のレバー（20）の一端部に揺動可能に取り付けられ、かつ連節され、前記第1のレバー（20）は前記第2のレバーと同じ回転方向（B）に揺動し、前記アーム（26）は前記2つのレバー（20、22）とは逆の回転方向（A）に揺動することを特徴とする請求項1に記載のクロノグラフ制御デバイス。

【請求項7】

前記アーム（26）は、前記第2のレバー（22）に連節され、前記第2のレバー（22）と同じ軸（21）を中心に揺動することを特徴とする請求項1乃至6のいずれか一項に記載のクロノグラフ制御デバイス。

【請求項8】

前記第1および/または第2の止め部材は対応する前記押しボタン（10、12）によって形成されることを特徴とする請求項1乃至7のいずれか一項に記載のクロノグラフ制御デバイス。

【請求項9】

（a）第1の押しボタン（10）によって作動させられ、前記第1の押しボタン（10）の方向への移動が第1の止め部材により制限される、揺動可能に取り付けられた第1のレバー（20）と、

（b）第2の押しボタン（12）によって作動させられ、前記第2の押しボタン（12）の方向への移動が第2の止め部材により制限される、揺動可能に取り付けられた第2のレバー（22）と、

（c）前記第2のレバー（22）に取り付けられたばね（30）と、
から構成され、

前記第1のレバー（20）は、前記ばね（30）と協働するアーム（26）に関連付けられ、その結果、前記アーム（26）と前記ばね（30）は、前記2つのレバー（20；22）のうちのどちらか一方が一方の前記押しボタン（10；12）によって作動されたとき、前記アーム（26）にもばね（30）の戻り力がかかるように互いに移動し、

前記第1止め部材および/または第2の止め部材は、対応する押しボタンによって形成されることを特徴とする請求項1乃至8のいずれか一項に記載のクロノグラフ制御デバイス。